

## イスラエルの回復のために祈りましょう

イスラエルのファラシヤ系ユダヤ人

人口:20,000人

■時は 1991 年。テレビの映像に映っているのは、何千人ものエチオピア系のユダヤ人だ。彼らは飛行機でアディスアベバからテルアビブへと次々に飛んでいく。これは、イスラエル政府の支援によって行われた「ソロモン作戦」という劇的な空輸作戦だ。この空輸により、1万4千人以上のエチオピアのユダヤ人が、イスラエルに帰還したのである。

■エチオピアのユダヤ人共同体は「ファラシヤ」と呼ばれているが、これは軽蔑的な呼び名であり、周りの非ユダヤ人が“黒人のユダヤ人共同体”という意味でしばしば用いる。もともとはエチオピアのゲエズ語で「所有物のない人々」という意味である。エチオピアのユダヤ人は、自分のことを「ベイタ・イスラエル」、つまり「イスラエルの家」と呼んでいる。1975 年、イスラエルのラビたちがエチオピアのユダヤ人を承認したことで、彼らのイスラエル移住の道が開かれた。メシアがもうすぐイスラエルに戻るという信仰から、また、自分の社会的・経済的立場を改善したいという思いから、70 年代以来、3万から4万人いるファラシヤ系ユダヤ人のうち、実に半分以上の人々がイスラエルに移住してきたのである。

■歴史をたどると、ファラシヤ系の人々は、もともと自耕自給の農業を営んでいたが、土地を奪われてからは社会の底辺に陥ってしまった。クリスチャンの所有する農地のほかに働く場所を失った彼らは、鍛冶(かじ)屋、陶器師、織り物の職人などになって生計を立てるようになった。しかし、これらの職業をもって働き口を見つけることは、現代のイスラエルではなかなか難しい。イスラエル政府の援助制度により、熟練工あるいは半熟練の職工になるための養成プログラムを受けている人々もいるが、全く訓練を受けていない人は底辺の単純労働か、失業かという厳しい選択を迫られる。ファラシヤ系ユダヤ人にとって、イスラエルの生活に慣れるのは大変なことである。エチオピアの北西部の素朴で小さな村から引き離され、現代社会の喧(けん)騒の中で多くの試練に遭う。水洗トイレの使い方や水道の水の出し方を教わる必要のある人も多い。「ソロ

モン作戦」の前に帰還したファラシヤ系ユダヤ人で、特別な訓練を経てうまく社会に進出したのは、わずか千人程度にすぎない。また、親と子供との言語的・文化的な格差で家族内の問題が続出し、離婚率の急増など、同化の難しさを示す現象が浮き彫りになってきた。30%の家庭は福祉援助金を受け取っている、と推測されている。

■ファラシヤ系ユダヤ人の宗教信仰は、主流派のユダヤ人信仰からかなり離れている。彼らはイスラエルの神を信じ、旧約聖書の戒めに導かれているが、最初の捕囚時代に発展した、ヘブライ的なラビの伝統の形跡は見当たらない。ほかのユダヤ人との接触も、新約時代のずっと以前から絶たれてしまったという。彼らは伝統的に超自然的な力や霊の存在を

信じ、魔術師にも頼ってきた。現在、ファラシヤ系ユダヤ人の祭司は、霊的指導者としてイスラエルで再訓練を受けてラビ的律法を学んでいるが、ラビと呼ばれるレベルまでに達した人はほんの数人である。ラビたちは当初、ファラシヤ系ユダヤ人にユダヤ教への正式な改宗を強要していたが、やがておさまった。しかし、ファラシヤ系ユダヤ人の中では、このような過去の苦い経験から、ラビ主導型のユダヤ教に対する幻滅が著しい。

■ファラシヤ系ユダヤ人は早い時期に、おそらく迫害を逃れるためか、経済的な理由かで、キリスト教を受け入れている。彼らは、キリスト教を拒んだユダヤ人と長い間仲良く共存し、親族関係にあることも珍しくなかった。しかし、今や改宗したユダヤ人は「二つの宗教を持つ」ということで、イスラエルのラビたちに「もうユダヤ人ではない」と宣言されている。イスラエルにはイエシュア(イエス)を自分のメシアと信じるファラシヤ系ユダヤ人が約 400 名いると言われ、「ファラシヤ・ムラ」という蔑称で呼ばれている。イスラエルへの空輸も再開しており、週に 150 人がイスラエルに到着しているが、アディスアベバで空輸を待つ多くの人は、貧しい環境で生活しており、病気で命を落とすこともある。



祈りの課題

☆ 彼らの文化にある心霊主義の覆いを取り除かれ、それに打ち勝つことができるように。

☆ イスラエルでもエチオピアでも拒絶や差別に遭っている彼らが、人々に受け入れられるように。またイエシュア(イエス)を信じたために、イスラエルへの移住を拒まれた人々が、イスラエルに帰還できるように。

☆ 疎外感と恥意識にさらされ、アイデンティティーの危機に陥ってしまった人々のために。

☆ ファラシヤ系ユダヤ人の高い少年犯罪率、離婚率、自殺率に立ち向かって。

☆ ラビ主導型のユダヤ教に対する彼らの幻滅が、逆に彼らが福音を受け入れるための糸口となるように。そして、彼らがメシアを知ることができるように。

☆ イエシュア(イエス)を信じる人々の間で一致が保たれるように。また、彼らが主に誠実を尽くし、自国民に対して力強い証しをしていくことができるように。

☆ 神が彼らのために用意されたご計画と召しを、彼らが成し遂げるように。

---